

【OIE 情報】ロシアにおける口蹄疫（0型）の発生について

平成 28 年 12 月 20 日
動物衛生課

ロシア ザバイカリエ地方における口蹄疫（0型）の発生について、2016年12月19日付けでOIEへ報告がありましたのでお知らせいたします。

【出典】：OIEウェブサイト（2016年12月19日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=21979

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1件（続報2）
- ・発生日：2016年12月14日
- ・OIEへの報告日：2016年12月19日
- ・血清型：0型
- ・臨床徴候あり

【発生状況】

- ・発生場所：ザバイカリエ地方 クラスノカメンスク

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	871	24	0	-	0
羊／山羊	164	0	0	0	0
豚	235	0	0	0	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中

【対応】

- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・発生に応じたワクチン接種を実施

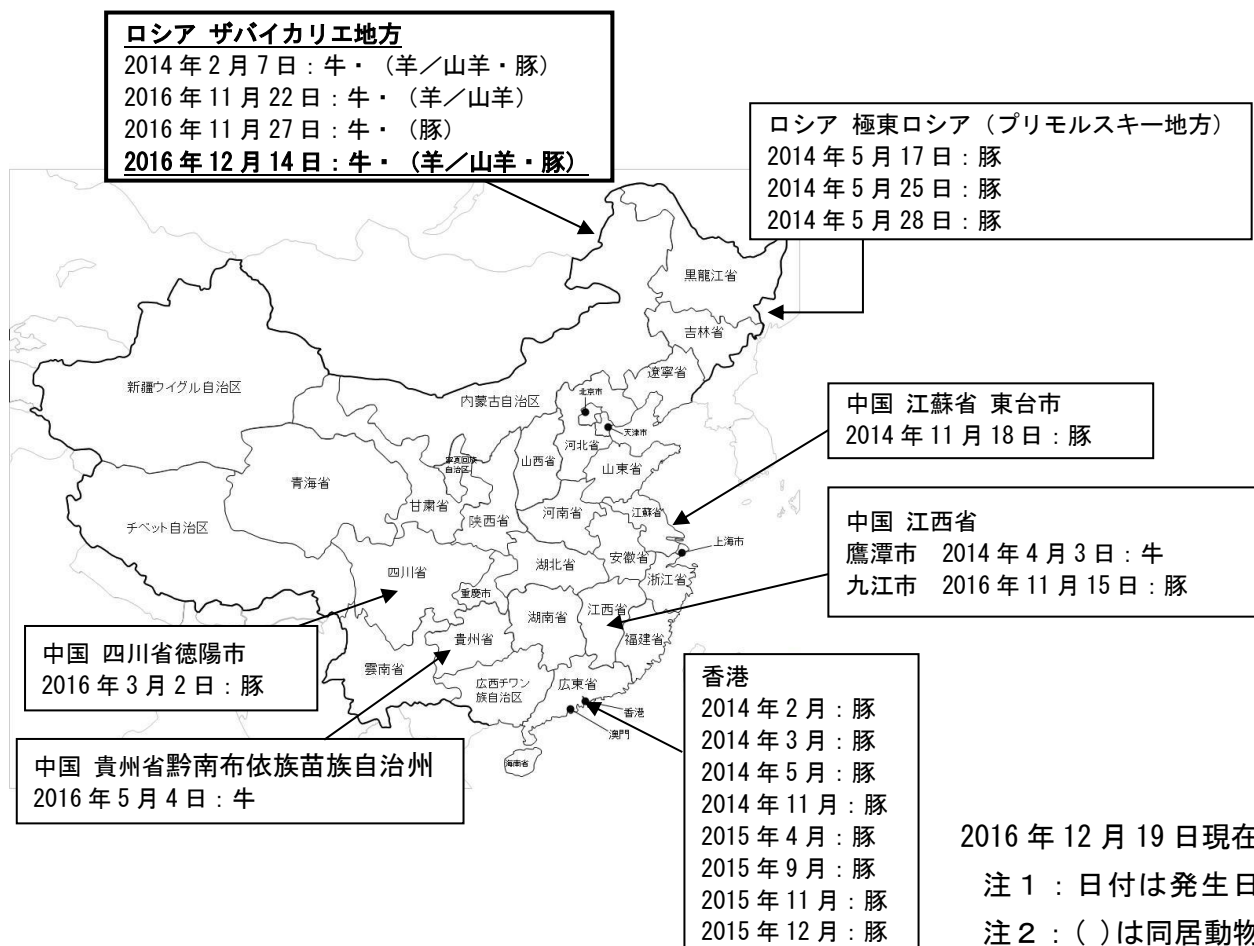
地方	動物種	接種頭数
ザバイカリエ地方	牛	2,376頭
	羊／山羊	2,231頭

- ・施設等の消毒実施
- ・隔離
- ・封じ込め及び/または保護区域の外側/内側におけるサーベイランス
- ・ゾーニング
- ・患畜を治療対象としない
- ・部分淘汰（予定）

【診断】

- ・ 診断施設：All-Russian Research Institute for Animal Health (FGBI-ARRIAH)
(OIE リファレンス研究所)
- ・ 診断法：抗原検出ELISA、補体結合反応 (CF)、RT-PCR：陽性 (2016年12月16日)

【参考情報】中国、ロシア (極東ロシア、ザバイカリエ地方)、香港における0型口蹄疫の発生状況 (2014年1月～)



(参考1) 中国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿が0型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

(参考2) ロシア (極東ロシア) での0型口蹄疫に関する情報

- ・ OIE 報告によると、ロシア プリモルスキー地方の口蹄疫発生場所は、それぞれ中国国境から30km及び45kmに位置し、プリモルスキー地方は口蹄疫ワクチン接種を行う緩衝地域に指定されている。
- ・ 国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、0及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している (ロシア連邦動植物検疫監督局ウェブサイト情報より)。

(参考3) 香港での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

- ・ 全ての種豚及び12週齢以上の豚に対し、4か月ごとに0型口蹄疫ワクチン接種を実施。